



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いただ
けます。▶



2020年
12月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp

高校生インターンシップ

延べ45社の会員企業が受入



昨年度から具体的にスタートを切った群馬同友会における高校生インターンシップの受入。今年度は西毛地域の三校（富岡高校・吉井高校・高崎北高校）よりインターンシップの依頼があり、総勢で約一〇〇名の生徒を延べ四十五社の会員企業が受け入れました。

富岡高校は十一月十一・十二日、吉井高校は十一月十七・十九日、高崎北高校は十一月二十五・二十七日、いずれも三日間（企業によっては二日間）のプログラムで実施。一般的な就業体験・業務同行はもちろん、会社の仕組みや社会人の基本のレクチャー、経営者や社員へのインタビュー、社内会議へ



の参加や取引先との商談に同席など、それぞれの企業で特色のあるインターンシップの受入を行いました。

受入企業からは「まずは会社のことを学生に知ってもらいたい。いずれ就職活動をする際には、地元企業も選択肢の一つとして考えてほしい」「たくさんの方が関わること、組織の活性化に繋がっている。大変な部分もあるが今後も継続的に受け入れたい」「若い世代の純粋な意見や提案が非常に参考になった。地域が抱える課題についても学生たちと一緒に考えることができた」「学ぼうとする意思がはつきりした生徒たちが来てくれたので、受け入れる側としてもやりがいがあった」な



どの感想が聞かれました。インターンシップの取り組みは、地元で活躍する中小企業に対する正しい認識や魅力を教育機関と連携しながら地域に広め、地域の未来を担う若者を育てる社会教育の活動です。また、受入企業になることは、社内体制の整備や人材育成などを通じて企業体質の強化につながり、若者（学生）から選ばれる魅力ある企業へと変革する契機となります。

共同求人部会では、今後も県内高校との連携を深め、インターンシップの取り組みを広げていく方針です。来年度以降も、ぜひ多くの会員企業に受入協力をお願いできると幸いです！

脱・プレイヤー

青年部会 10月例会



十月二十六日(月)、同友会事務所(ZOOM併用)を会場に「青年部会10月例会」を開催。「脱・プレイヤー」経営者の仕事とは?」をテーマに(株)プランニング、代表取締役・町田英之氏(前橋支部)が自身の経営体験を報告しました。今回は延期になっていた三月例会の企画。

入社から現在に至るプレイヤー割合の変遷を説明の後、何のためのプレイヤー脱却なのか?経営者の仕事とは何か?について持論を展開した町田氏。脱・プレイヤーの実現を妨げる理由の一つ、自分しか、その仕事ができない」については「それは経営者の錯覚であり、教えていないだけ。あなたができることは他の人でもできる」と厳しく指摘しました。また、脱・プレイヤーの実現に不可欠な社員教育や企業文化の醸成について、自社の取り組みを紹介しました。

報告終了後は「経営者の仕事とは?」をテーマにグループ討論を実施。「視点を五年後、十年後の未来に置いて考える」社員が能力を発揮できる仕組みづくり」「コロナ禍は今までの経営者の仕事に試されている」など、各グループで活発な意見が交わされました。

良い会社づくりの道標

富岡安中支部10月例会

十月二十三日(金)の富岡安中支部例会は、「良い会社づくりへの道標、経営労働部会からの提言!」と題してパネルディスカッションが行われました。パネラーは、経営労働部会長の戸塚氏(アイテックスシステム社長)、副部会長の小坂橋氏(小坂橋産業社長)、県の働き方改革アドバイザーでもある洪川吾妻支部の金井氏(ブランケット社会保険労務士事務所所長)の三名が、そしてコーディネーターは、部会中心メンバーの鈴木氏(skymanネジメントコンサルティング代表)がとめました。

後の変化、そして就業規則の見直しや三六協定等々、多岐に渡りました。パネラーだけでなく参加者にも発言を求めながら会場が一体となつての進行はとても好評で、参加者からは「とてもわかりやすく学びの多い例会だった」「就業規則について意外に知らないことが沢山あった」などの感想が寄せられていました。



糖度10のトマト「SWEET10」が好評です

ぐんまの農業を元気に!



三光ファーム

Sanko Farm

代表取締役 廣瀬光昭



軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせ自由設計、コスト削減(事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2

TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102

URL <http://kk-sanei.net/>

バーチャル(風)会社訪問

前橋支部10月例会

前橋支部では十月二十一日(水)、ZOOMミーティング上にて支部例会を開催。「バーチャル(風)会社訪問」と題して、ホームページ・パンフレット・サイン

様子や社員さんへのインタビューなどを撮影。その動画を画面共有(ZOOMの機能)する事で会社訪問を疑似体験しました。

また、神谷氏の会社紹介では、同社の沿革から経営理念、業績の推移、過去の実績、今後の展望などを短い時間で報告していただきました。見やすいパワーポイント資料や過去の実績も相まって、見せて伝えるプロの仕事垣間見ることが出来まし

た。



人が育つ環境をつくるためのカギ

高崎支部10月例会

十月二十一日(水)、ビエント高崎(ZOOM併用)を会場に「高崎支部10月例会」を開催。企業向けの組織開発・人材育成研修などを手掛ける(株)プロタゴ

は「他者からどれだけ促されても、納得感がないと当事者(社員)は動かない。自主的な発言と行動を当事者から引き出すことが重要」と語りました。

ワークス、取締役・野尻浩美氏(高崎支部)が報告者を務め、「人が育つ環境をつくるためのカギ」をテーマに、専門家の視点で組織開発のポイントを語りました。

参加者アンケートには「自社の取り組みを客観的に考えることができた」「社長目線と社員目線の教育の違いに気づかされた」「社員が自主的に学び、行動できる職場環境をめざしたい」などの感想が綴られていました。

今がチャンス！

渋川吾妻支部10月例会

十月二十六日(月)の渋川吾



妻支部例会は、「今がチャンス！」それぞれの工夫、事業展開とは!」と題して開催されました。

はじめに(株)シェリーの清塚社長が問題提起。ノベルティグッズの製造販売を主力としていた同社はコロナ禍で受注が激減。新たにフェイスマスクの製造販売に取り組んできた経緯などをテーマに沿って語りました。その後は参加者全員が一つの

輪となり全体会。一人ひとりがそれぞれの工夫や事業展開について率直に語り合いました。

少人数の支部ならではの例会形式として企画されましたが、当日は想定よりも参加人数が多く、コロナ禍で定員の半数と

なっている会場は満席でした。参加者からは「ピンチをチャンスへ実際に転換した話は率直に参考になった」「やった人にかかわらないネット販売の体験は興味深かった」「今後を考えるヒントがたくさんあった」などの感想が述べられていました。

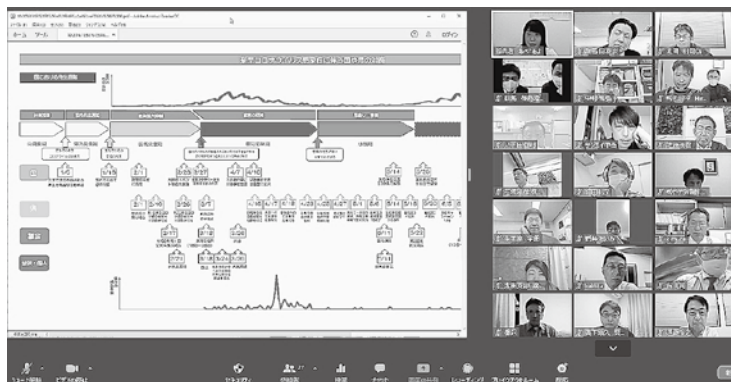
月例会(町田氏報告)

の分析、現在関わっているクライアントの事例から「自分にとって良かった方法が相手にとつての良い方法とは限らない」「自己評価と他者評価のズレを解消する見える化とガチ面接」「教育してもらってない人に他の人を教育してもらう」など、人が育つ環境をつくるためのカギを紹介。カギ⑤「社員の自主的な未来づくり」について



コロナ禍の今後の対応

太田支部10月例会



太田支部では、十月二十二日(木)、オンライン会議システムZOOMを使用し、「県議から見るコロナ禍の今後の対応」と題して、群馬県議会議員・あべともよ氏(太田支部)が、収束の見えないコロナ禍への私見を報告しました。

国内での新型コロナウイルス発生から県内罹患者数の推移と、緊急事態宣言などの対策を時系列に振り返る事で、改めて人の往来による感染リスクをグラフから読みとる事ができました。また、県内の対応として、

教育・医療体制・産業経済対策・外国人対策などについて、これまで行ってきた具体的な取り組みと関連する情報の掲載ページ(群馬県HP)を紹介しました。「感染(濃厚接触含む)が発覚した際、いじめに繋がるのでは?」との質問には、「どう対応すべきなのかを、子どもと一緒に考える機会にして欲しい」と答え、その他の対策についても「これまでとは違うやり方を考えなければいけない。新しい方法を模索する。チャンス」と捉えて欲しい」と訴えました。

2時間では足りませんSDGs

伊勢崎支部10月例会

十月二十日(火)、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部10月例会」を開催。「二時間で学ぶSDGs(持続可能な開発目標)」体験型カードゲームで楽しみながら本質を理解する」をテーマに学び合いました。講師を務めたのは株式会社環境ソリューション・神部安希子氏。

カードゲーム「2030SDGs」は、SDGsの十七の目標を達成するために現在から

二〇三〇年までの道のりを体験するゲーム。二人一組の各チームが与えられたお金と時間を使ってプロジェクト活動を行い、最終的にゴールを達成するもの。但し、プロジェクト活動を実行すると、世界の経済・環境・社会の状況メーターが変動します。

今回の支部例会では、スタート直後から各チームが自分達のプロジェクト活動を優先して我

先にとゴールを目指すあまり、前半は経済ばかりが伸びて環境・社会は瀕死の状態になりました。しかし、後半からは各チームが世界の状況メーターを強く意識するようになり、既にゴールを達成したチームが他チームに協力するなどした結果、環境・社会のメーターも一定水準まで伸び、さらに全チームが無事にゴールを達成することができました。

ゲーム後の振り返り



で神部氏は「ゲームを通して世界は繋がっている」ことが実感できたのではないかと。そして、私たち一人ひとりの行動が起点になって今日の世界が創り出されている」と語り、身近な食品の選択一つで地球温暖化に繋がっている事例や個人で社会に対して出来ること、SDGsに貢献する企業の社会的責任などを紹介しました。

参加者アンケートには「環境や社会の大切さ、皆で協力する大切さを学んだ」「自分の価値観だけで進むと社会全体が見えなくなると実感」「何をするにもお金と時間は必要と再認識した」「中小企業こそSDGsに取り組むべきでは」などの感想や意見が綴られていました。



女性の起業と利他の心

沼田支部10月例会

沼田支部では、十月二十七日（火）、司鮎（山田国大氏）を会場に支部例会を開催。高崎市にてまつげエクステサロン・スクールを経営する（株）リタイイズ、代表取締役・澤浦京子氏（沼田支部）が「女性の起業と利他の心」と題して経営体験を報告しました。また、沼田支部としては初のZOOMを併用し、女性部会（仮）準備会にも声をかけ、遠方からの参加も受け付けました。

身の起業から現在、これからの展望に合わせて順番を入れ替え、その時々のエピソードをリンクさせて展開されました。

主婦から個人事業主、さらに会社を設立し経営者になるまでの道のりは想像以上に厳しいものでした。法改正により、まつげエクステンション施術に美容師免許が必須になったことを受け、免許取得のために通いやすい通信制ではなく、合格率の高さから全日制の専門学校を選び、自身の子どもと同年代の生徒と机を並べ技術を習得するなど、選択一つひとつから事業にかける覚悟が伝わりました。

澤浦氏の報告は、稲盛和夫氏の「経営十二カ条」の項目を自

身で実践していることが、経営者になるまでの道のりとは想像以上に厳しいものでした。法改正により、まつげエクステンション施術に美容師免許が必須になったことを受け、免許取得のために通いやすい通信制ではなく、合格率の高さから全日制の専門学校を選び、自身の子どもと同年代の生徒と机を並べ技術を習得するなど、選択一つひとつから事業にかける覚悟が伝わりました。

また、「お客様が満足する価格と経営維持・拡大に必要な価格とは極大に異なる」として、適正価格を見極めるのが社長の仕事である」として、売上最大・経費最小への取り組みを紹介しました。

今後の目標については、「サロンのお客様累計一〇〇〇名、スクールの生徒は累計二〇名」と具体的に



な数字で表し、サロンでは、お客様に自信・感動・笑顔を提供し、スクールでは女性の経済的自立を支援していきたいと語りました。

報告後は「自社の事業の意義とそれに対する覚悟はできているか」とのテーマでグループ討論を行い、参加者が自社の事業を客観的に見つめ直し、覚悟を決めて自身を奮い立たせる機会となりました。

参加者アンケートには「何か行動したくなるような報告だった」「強い意志と覚悟があればどんな逆境も乗り越えられる」「報告に対する準備や姿勢が素晴らしい」といった感想が綴られていました。

起業直後の倒産危機を乗り越えて

桐生支部10月例会

十月二十三日（金）、桐生市職業訓練センター（ZOOM併用）を会場に「桐生支部10月例会」を開催。訪問看護・通所介護・居宅介護支援事業の合同会社・ピーチファクトリー、代表社員・小川浩司氏（桐生支部）が報告者を務め、「次世代に残せる企業をめざす」起業直後の倒産危機を乗り越えて」をテーマに自身の経営体験を語りまし

た。銀行の融資反故、共同経営者の離脱、友好的買収の裏側、空き巣被害、広告詐欺被害など、数々の不運や失敗で起業直後の倒産危機に直面した小川氏。「やれるだけやってからでも遅くない」と自分自身を鼓舞して、付加価値の高いサービスの提供や優秀な人材のスカウトなどで他社との差別化に取り組み、通所介護事業を立て直したエピソードを紹介しました。また、報告の最後

には、各事業の売上比率見直しや複合型新施設の建設など、二〇年後を見据えた事業構想も披露しました。

報告後は「次世代に残せる企業がすべきこと」をテーマにグループ討論を実施。「大手が真似できないニッチ市場へのアプローチ」「時代の変化を的確に捉え、顧客から選ばれる企業づくり」「トップが意志を持って事業を創造していく」など、活発な意見が交わされました。





新鮮素材を活かした 持ち帰り料理を提供



(株)つかさ(司鮎)

執行役員 山田 国大 氏(沼田支部所属)

Q & A

▼店舗紹介

当店は、沼田市内にて五〇年以上の歴史を持つ鮎屋です。海なし県の群馬で、新鮮な海の幸を提供し続け、地域の皆さまに支えられて今に至ります。店舗での食事提供はもちろん各種法要料理、大小宴会も承っており、店舗二階と別棟の宴会場がありますので大型の宴会まで対応しています。沼田支部例会の会場としてもお使いいただける広さがありますので、どんな活用をお願いします。

▼自己紹介

私は二〇一九年、今からちよ

持ち帰り料理
折々の旬の新鮮素材を活かした器や料理の美味しさを求めて、日々味の向上に努めております。

花 3000円(税別)	鳥 2500円(税別)
風 2000円(税別)	月 800円(税別)

※旬の食材によりお料理内容が多少変更になる場合がございます。 ※表示価格はすべて消費税別となります。

沼田城下の
司鮎
〒378-0053 群馬県沼田市東原新町15-44
☎ 0278-23-5365
☎ 0120-23-5365
営業時間 昼11:00～夜10:00 / 定休 月曜日

うど一年程前に入社しました。それまで建設業に身を置いていたので全くの異業種への転身です。いまだに戸惑いの連続ですが、新しい知識に触れたり、職人としての技術習得など厳しい中でも楽しく過ごしています。

▼イチオシPR

また、最近の趣味は筋トレで、大胸筋を鍛える事に没頭しています。お店のまな板の様に厚く、固い胸板を目指し頑張っています。

コロナ禍の影響から、お持ち帰りのお弁当・料理に力を入れています。お鮎にこだわらず、四季折々の食材を活かした「花・鳥・風・月」の四種類のお弁当と幕の内を用意し、それぞれに旬の食材を使用して品数を揃え、色々々味を楽しめるよう考えて提供しています。また、地元商工会の企画に参加するなど、新たなランチ客の掘り起こしを積極的に行ったり、SNSを活用して、オススメ食材



めました。

▼今後の課題について

法要料理もお弁当に切り替わり、少しずつ注文も戻り始めました。来店客も同様に戻りつつありますが、以前の六割程度です。

お持ち帰りでも、お召し上がりでも、お客様が安心して食事が楽しめるお店づくりを考えています。ソーシャルディスタンスが保てる店舗づくりや、配達サービスなど、これまで同様のサービスに新たな付加価値が必要なのは間違いありません。

▼取り組んだ経緯は

新型コロナウイルス感染拡大が飲食サービス業に直撃したのはご存じかと思いますが、当店も、三月四月の歓送迎会シーズンに始まり、外出自粛などの政府の対策も相まって宴会はほとんどキャンセルになりました。法事などの集まる機会が激減し法要料理も入らない状況でした。売上で約八割減まで落ち込んでしまいい、そんな状況でもできる事として「配達・テイクアウト」に力を入れてPRを始

▼五年後・一〇年後について

コロナ禍に加えて、利根沼田地域の高齢化にも注目しています。店舗に来ていただく事に加えて「届ける」というスタンスを取り入れて、地域の皆さまにこれまで同様、もしくはそれ以上に必要とされる鮎屋として、安心の食事サービスで「おいしい笑顔」をお届けしていきたいと考えています。

所在地／沼田市東原新町1544-2
連絡先／TEL 0278-23-5365

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【本県最高層のカフェ】

(株)大和屋

県庁 32 階に 10 月 28 日に開業するカフェ「ヤマトヤコーヒー 32」の報道機関向け内覧会が 26 日、同所で開かれ、落ち着いた雰囲気のお店やオリジナルコーヒーが披露された。

香りや酸味のバランスが取れた「アカギブレンド」(470 円)や、香り高い「ハルナブレンド」(550 円)など独自のブレンドコーヒーのほか、県産牛乳を使ったカフェラテなどを披露。県産のハムやレタスを使ったバスケットサンドやパフェも紹介した。

同店は、県が起業や新ビジネス創出の拠点として整備を進める「イノベーション・ハブ」の南側に開業。午後 5 時以降はコーヒーを使ったカクテルなどアルコール類も販売する。

運営を受託したコーヒー製造販売の(株)大和屋(取締役会長・平湯正信氏/高崎支部所属)の桜井峻さんは「県民が自慢できるカフェにしたい」と意気込んだ。営業時間は午前 9 時～午後 9 時。閉店日を除き年中無休。

[10 / 27 付上毛]

【地元企業招きワークショップ】

共愛学園前橋国際大学
(株)ペリテック

共愛学園前橋国際大学(学長・大森昭生氏/前橋支部所属)は 2 日、前橋市の同大で地元企業を招いてのワークショップを開いた。2 年生 35 人がグループワークを通じ、計測・試験機器製造の(株)ペリテック(代表取締役・井澤年宏氏/高崎支部所属)が展開する女性プログラミング教室開業支援の課題について話し合った。

同社の奥原暁子さんが労働人口が不足することや女性が出産育児を機に退職している現状、先端 IT 人材育成の必要性などを説明。学生は同社の開業支援でオーナーとなる子育て世代の母親や生徒をどうすれば集められるか、互いに意見を出し合った。

同校の授業「キャリア・プランニングⅢ」として開かれ、同社を含め計 3 社が講師として課題を出題する。

[11 / 3 付上毛]

【生徒飼育の和牛を販売】

(株)サンモール

利根実業高校(沼田市)は、同市とみなかみ町に

あるスーパー「サンモール」(株)サンモール、取締役常務・藤野晃嗣氏/沼田支部所属)計 4 店舗で、同校生物生産科生物資源コースの生徒が育てた和牛の肉を販売した。

新型コロナウイルスの影響で、生徒は売り場に立たず、商品のみが置かれた。沼田市の桜町店では、生徒が作成した販促用のポップを掲示、開店直後から牛肉を目当てに訪れる客で盛況だった。

同校は昨年度から、生徒が育てた和牛の出荷後や流通の仕組みを知ってもらう取り組みを行っている。牛肉の販売は、食肉販売の関東日本フード群馬営業部、サンモールと協力し、昨年に続き 2 回目。

[11 / 6 付上毛]

【沼田で移動スーパー】

(株)サンモール

高齢者が買い物難民を支援するため、利根沼田地域でスーパーマーケットを展開する(株)サンモール(取締役常務・藤野晃嗣氏/沼田支部所属)は 25 日、移動スーパー事業を始める。日用品や生鮮品を積んだトラックで高齢者宅を訪問する。買い物支援に加え、密になりやすいスーパーへの来店を抑えることで新型コロナウイルスの感染防止にもつなげる。

桜町店から半径 5 ㎞を範囲とし、月曜～金曜の 5 日間、計 3 ルートで巡回する。現状で 160 軒への訪問を想定している。商品は肉や野菜、果物、刺し身やすし、総菜、パン、菓子といった食料品、トイレトペーパーやティッシュなどの日用品を含む計 400 種 1200 点をそろえる。

買い物が難しい高齢者が市街地でも増えているとして、同社は移動販売事業を手掛ける「とくし丸」(徳島県)と連携し、移動スーパーの導入を決めた。今後、山間部への巡回も検討する。

25 日には沼田市と見守り協定を締結する。販売で個人宅を訪れた際、異変があれば市などに連絡する。サンモールの担当者は「買い物支援と見守りを通して、高齢者が安心して暮らせる街づくりに貢献したい」としている。

[11 / 20 付上毛]

【会員登録変更】

BeautySalon Clara、代表・渡辺真由美氏(太田支部所属)は、この度、下記の通り会員登録を変更しました。

Nicolulu

代表・渡辺真由美

〒379-2301 太田市薮塚町 2126-7

TEL: 0277-47-6805

限りある資源を、次世代へ
株式会社 エステビー

Stability Topline Business Co.,Ltd.



産業廃棄物収集運搬
産業廃棄物リサイクルの提案
一般貨物自動車運送
塗装プラント清掃

〒379-2123
前橋市山王町1-19-14
TEL 027-212-3312
FAX 027-266-8288
http://www.s-t-b.jp

アルミ精密部品の切削加工メーカー

株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL: http://www.apm-f.com E-mail: fuse@apm-f.com

新会員
ご紹介11月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

HORI会計

〒370-0074 高崎市下小島町300-1 吉田ビル102

TEL: 027-395-0303

FAX: 027-395-0370

経営相談・経営支援、税務会計業務、経理代行業務
ゴルフ

【紹介者/事務局】

今年の7月に税理士として、独立開業しました。「ご縁あるすべての方を幸せに」をモットーに、税務会計だけでなく、経営相談にも力を入れております。財務分析による「事実」から経営改善の糸口を提供します。



代表
堀口 祐介
S55年生

高崎支部

原田工業(株)

〒370-2304 富岡市後賀251

TEL: 0274-63-1036

FAX: 0274-63-2050

金属加工

アンティーク着物集め

【紹介者/高沼和成】

当社は切削、旋削加工を主に油圧機器、自動車のステアリング部分等の生産を手掛けております。独自の技術でお客様のコスト請求を満たしつつ社員一同付加価値の高い製品の提供をする為に日々努力しています。右も左も分からない自分ですが会員の皆様と交流させて頂き、経営の事柄等アドバイス頂ければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



取締役
西 湯 伸 子
S46年生

富岡安中支部

第7回
理事会報告

日時 十一月十日(火)

※今回も同友会事務所とウェブを併用したハイブリッド開催となりました。

出席者(順不同・敬称略)
正副代表理事/山岸、澤浦、田村、提督、町田、常任理事/戸塚、吉池、布施、海老沼、小林、星野、佐藤、理事/小林、杉崎、古澤、高屋敷、渡辺、金井、関口、浅井、事務局/黒岩、阿久澤、竹内(役員計二十名)

【議事】

小林伊勢崎支部長が議長をつと

とめ、山岸代表理事挨拶のもと、第七回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の案内報告

共同求人部会より、十二月から三回に渡ってオンライン開催される「社会連携シンポジウム」の案内と、その開催意義について説明がありました。

青年部会より、高崎支部との合同例会「跡取り物語シリーズ十六弾」の案内がありました。

2. その他

①事務局より支部還元金(下半期)の支払報告がありました。
②同友会も後援している群馬イ

ノベーションアワードのファイナリストとして今年、澤浦代表とダイコーの齋藤社長(太田支部)が登壇する旨が紹介されました。

II. 審議・承認事項

1. 新年度の理事選候補者推薦依頼(再)と、総務会からの提案について

あらためて新年度の理事候補者推薦依頼が行われるとともに、新年度の体制について総務会から提案があり、これを承認しました。

2. 入退会者承認と仲間づくり推進について

前回理事会以降の入会者二名、退会者四名を承認。会員数は五三一名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換

重点方針のひとつ「支部・部会・委員会の活動を理解し、交流と連携をすすめる」のために、今回は「経営労働部会」について、戸塚部会長から活動趣旨説明を受けてグループ討論を行いました。

2. 第八回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催することを確認しました。

■日時/十二月一日(火)
■会場/同友会事務所
+ ウェブ(併用)

環境を思う、未来を想う あらためて誓う 上武印刷

優れた環境適応性。

より高精度で美しい仕上がりに

「水なし印刷」システム

「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO₂を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数で

オンデマンド印刷

オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所



上武印刷株式会社

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/



部品加工の 株式会社 マテハン

同友会の製造業と連携して
北関東機械加工センターを目指します。

ホームページで仕事の受注が来ました。

好評「部品加工のマテハン」

URL: http://www.kk-matehan.co.jp/

E-mail: mth@kk-matehan.co.jp

従業員数 12名

代表取締役 島山 淳

群馬県太田市矢田堀町351-6

TEL 0276(37)4571

FAX 0276(37)4562

今お使いの会計ソフトを
「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!

クラウド予算実績管理ツール



YOJITSU®
https://yojitsu.net/

同友会
高崎支部会員

株式会社

シスプラ



0120-638-377